

「新しい多摩の振興プラン（仮称）」素案の概要

～サステナブル・リカバリー 多摩のさらなる発展に向けて～

1 策定の意義（背景）

- 「多摩の振興プラン（2017年9月）」に基づき、これまで様々な取組を着実に推進
- コロナ禍でデジタルシフトが加速するなど、社会の大きな変化・変革が進行
- 地球温暖化の影響により、自然災害が激甚化（令和元年東日本台風など）
- 少子高齢化、道路・交通インフラの充実、産業振興など、多摩の地域ごとに諸課題が存在
- 「『未来の東京』戦略（2021年3月）」の策定

新しい多摩の振興プランを策定

- **社会経済状況の大きな変化を踏まえ、「『未来の東京』戦略」で示された「3か年のアクションプラン」や各局の計画等に基づき、3か年で都が実施する取組を中心に、その方向性や具体的な取組を多摩に特化した視点で取りまとめて、提示**
- 都の取組は、都が自ら実施する事業、市町村・民間等の取組を促進するための支援策を記載
- 多摩地域は、地勢、人口動向、土地利用、産業構造など、地域によって特性や課題は様々であることから、地域ごとの実情を把握・整理

2 「多摩の振興プラン」における主な取組状況（2017～2020年度）

➤ 安全・安心で、誰もが暮らしやすいまちづくり

- ・都営多摩ニュータウン永山三丁目団地の竣工
- ・東京都ひとり親家庭支援センター「はあと多摩」の開設
- ・梅ヶ谷トンネル（山間部道路の整備）の本体工事に着手し実施中



〔梅ヶ谷トンネルの完成イメージ〕

➤ 道路・交通ネットワークの充実強化

- ・調布保谷線・東八道路の一部区間を4車線で交通開放
- ・連続立体交差事業（西武新宿線・東村山駅付近）の推進



〔調布保谷線（三鷹3・2・6）の整備状況〕

➤ 地域資源を生かした産業振興、地域で働くことができるまちづくり

- ・東京都立多摩産業交流センターの整備に係る工事に着手し実施中
- ・TOKYO創業ステーションTAMAの開設
- ・多摩地域雇用就業支援拠点（仮称）の整備に係る工事に着手し実施中



〔東京都立多摩産業交流センターの完成イメージ〕

➤ 文化・スポーツの振興、教育の充実

- ・小中高一貫教育校の設置に向けた工事に着手し実施中
- ・東京都多摩障害者スポーツセンターの改修工事の完了



〔東京都多摩障害者スポーツセンター体育館照明のLED化〕

➤ 豊かな自然との共生、環境に優しいまちづくり

- ・中小河川の水辺空間の緑化の推進
- ・水素ステーション（八王子市・多摩市）に対して補助を実施



〔大栗川の緑地の推進〕

3 多摩を取り巻く状況

人口減少・少子高齢化

- 2020年(約428万人)をピークに人口減少に転じる見込み
- 2040年には高齢化率が32.4%まで上昇する見込み

コロナ禍を踏まえた企業移転や転居の考え方

- 多摩地域が本社事業所の移転先の候補の1つ
- 完全にテレワークでの勤務が可能となった場合、東京圏在住の約4割が転居に関心

(国土交通省アンケートより)

道路・交通ネットワーク

- 多摩地域の都市計画道路の完成率:62.0%(2020年)
- 公共交通へのアクセスが不便な地域が見られる

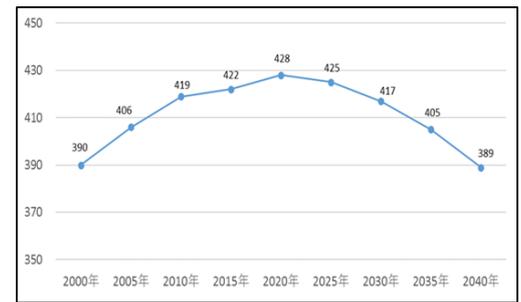
産業

- 製造品出荷額等は都全体の約6割(約4兆7千億円(2018年))
- 大規模工場が撤退する一方、物流拠点や企業の研究機関などが進出

自然環境

- 身近な自然が豊富にあるが、農地や樹林地が減少傾向(みどり率:2013年68.4%→2018年67.8%)

多摩地域の人口の予測 (万人)



資料:「東京都の人口予測」(東京都総務局)2020年3月 等より作成

多摩地域の都市計画道路の状況(2020年3月)

	計画延長(km)	完成延長(km)	完成率(%)
西多摩	193.9	139.8	72.1
南多摩	537.9	386.8	71.9
北多摩西部	219.3	117.6	53.7
北多摩南部	279.0	163.7	58.7
北多摩北部	197.5	77.3	39.2
多摩地域	1,430.5	886.2	62.0

※都県境も含めた値であり、各項目の合計値と合致しない

資料:「都市計画現況調査」(国土交通省)より作成

4 多摩地域の概況(エリア別の特性)

西多摩エリア

(青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、檜原、奥多摩)

- ✓ 広大な森林、山岳、清流、里山風景などの豊かな自然に恵まれているほか、製造品出荷額等が多摩地域内で最も多い
- ✓ 既に人口減少が始まっており、今後も減少が続くと見込まれる

北多摩北部エリア

(小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京)

- ✓ 玉川上水や八国山緑地などの豊かな自然環境が広がり、武蔵野の面影を残している
- ✓ 都市計画道路の整備を進めているが、完成率が低い

北多摩西部エリア

(立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山)

- ✓ 交通の要所の立川駅のほか多摩地域の創業・産業支援の拠点がある
- ✓ エリア北部に鉄道駅がない地域がある

北多摩南部エリア

(武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江)

- ✓ 都心へのアクセスが良く、生産年齢人口が増え保育サービスの利用児童数が大きく増加している
- ✓ 都市化の影響や後継者の不足などにより、生産緑地面積が減少傾向にある

南多摩エリア

(八王子、町田、日野、多摩、稲城)

- ✓ 圏央道のICがあるほか、近隣にリニア中央新幹線の新駅の開設を予定している
- ✓ 高齢者人口が多摩地域内で最も多く、出生数も減少傾向にある



5 取組の基本方針と方向性

取組の基本方針

それぞれの地域の特色を活かし、賑わいと活力に満ち溢れ
豊かな自然と都市機能が調和したより良い多摩を、
サステナブル・リカバリーの視点を持って
都と市町村でつくりあげる

取組の方向性

2つの方向性により、多摩の更なる発展を目指した6つのカテゴリーの取組を推進

方向性 1

新型コロナの危機を乗り越え
大きな社会の変化・変革を
多摩地域の更なる発展のチャンスへ

方向性 2

多摩地域それぞれの特性や課題に応じて
多様なポテンシャルを伸ばすとともに
様々な課題を解決

取組の区分

- ① 新しい働き方が浸透し、誰もが輝き、暮らしやすいまち
- ② 安全・安心な暮らしを守るまち
- ③ 道路・交通ネットワークが充実し、地域特性に応じた快適なまち
- ④ 地域資源と先端技術を活かし、スマートな産業が確立されたまち
- ⑤ 豊かな自然と都市機能が調和し、環境に優しいまち
- ⑥ 地域が持つ資源に磨きをかけ、人を惹きつけるまち

6 多摩地域の更なる発展を目指した取組

① 新しい働き方が浸透し、誰もが輝き、暮らしやすいまち

- サテライトオフィス設置補助などにより、**多摩地域でのテレワーク**を普及促進
- 高齢者の暮らしの安心に向け、公的住宅を活用した居場所づくりや**自動運転車両による移動支援**の取組を展開
- 待機児童解消区市町村支援事業など、**保育サービスの拡充**に向けた市町村の取組を広く支援
- 多摩地域でも**体験型英語学習施設**を整備し、グローバルに活躍する人材を育成

② 安全・安心な暮らしを守るまち

- 災害時に孤立が想定される地域に**ドローンを活用した物資輸送体制**を構築
- 中小河川における護岸や調節池の整備など、**豪雨災害への対策**を推進
- 災害時の円滑な対応につなげるため、都道及び市区町村道の**無電柱化**を促進
- **多摩メディカル・キャンパス整備**事業などにより、多摩地域全体の医療水準を向上

③ 道路・交通ネットワークが充実し、地域特性に応じた快適なまち

- **多摩南北・東西道路**や**南多摩尾根幹線**などの整備を推進
- **箱根ヶ崎方面への多摩都市モノレールの延伸**の事業化に向けた現況調査及び基本設計等を実施
- トンネルや橋梁などの予防保全型管理により、**都市インフラの長寿命化**を推進
- 大規模団地の順次建替えなど、**多摩ニュータウンの再生**

④ 地域資源と先端技術を活かし、スマートな産業が確立されたまち

- [東京都立多摩産業交流センター](#)を整備するなど、都域を超えた広域的な交流によるイノベーションを創出
- I o TやA I等の先進技術を活用した[東京型スマート農業](#)を推進し、稼ぐ農業を実現
- キャッシュレス化やデジタルスタンプカードアプリ開発など、[商店街のスマート化](#)に資する取組を支援
- 東京及び首都圏の物流機能を支える、[物流拠点](#)の整備に向けた関係市の取組を支援

⑤ 豊かな自然と都市機能が調和し、環境に優しいまち

- 生産緑地買取申出等に対応する市区に対し補助を行い、[生産緑地を公園緑地として活用](#)
- Z E V導入の促進や、多摩地域で[再エネシェアリング](#)モデル事業を実施・運用
- 重要な自然地を選定し、[保全地域として指定拡大・公有化](#)を促進
- 自然豊かな多摩河川の清流や水辺空間を活かし、[水辺の賑わい](#)を創出

⑥ 地域が持つ資源に磨きをかけ、人を惹きつけるまち

- 多摩地域において、[観光型M a a S](#)の実装に向けた取組を推進
- [滞在型旅行（ロングステイ）](#)に係る多摩地域の新たな取組を支援
- 気軽に参加、体験できる[スポーツイベント](#)の開催や、誰もが楽しむことができるスポーツの普及を推進
- [伝統文化・芸能の魅力を発信](#)するフェスティバルの開催や、郷土芸能を発信する民間の取組を支援

7 本プランの実現に向けて

- ✓ 今後、人口減少・少子高齢化や「新しい日常」を前提とした社会の大きな変化・変革を受け入れながら、これまで以上に、創意工夫を凝らして取組を進めることが必要
- ✓ 都が多摩振興に資する事業を着実に進めることに加え、地域の実情に精通した市町村との緊密な連携や、市町村間の広域連携等による取組が重要

○ 都と市町村との連携

市町村への行財政支援

各種補助金・交付金(市町村総合交付金など)、市町村への人的支援、まちづくり施策の推進への支援など

○ 市町村間での広域的な連携

取組内容に応じた市町村間の柔軟な連携が円滑に展開されるよう、引き続き、都として必要な支援を実施

＜連携事例＞広域連携サミット、多摩川流域連携会議、魅力向上プロジェクト、広域行政圏協議会など

8 スケジュール

令和3年5月25日 プラン素案の公表

パブリックコメントによる意見募集・市町村への意見照会開始
(意見募集期間は6月25日まで)

令和3年9月

プラン策定・公表予定